

■授業の目的及び到達目標

中国語科教育の理論や実践を理解し、教育実習で活かせるように中国語科の教員として必要な能力を身に付ける。模擬授業等の実践的な学びを通し、教えるという意識を高め、学習指導案作成及びその遂行能力を獲得する。

■授業計画

〔前期〕

- 1 高校の中国語教育の現状
高校の中国語教育の現状について紹介する。いくつかの高校の取組み、コース制、選択制など、具体例を挙げながら説明する。
- 2 学習指導要領と中国語教育の関連
学習指導要領と中国語教育に関し、何をどこまでどのように教授するか理解し、考察する。
- 3 発音指導（1）
発音指導の方法、ピンインの問題について学習する。PCを用いた方法も紹介する。
- 4 発音指導（2）
入門期の指導と発音問題について整理し、実際の授業デザインを考える。
- 5 テキスト分析（1）
中国語の指導項目と学習項目について、何をどこまで指導するか学ぶ。
- 6 テキスト分析（2）
教科書選択の基準。様々な教科書の特徴を把握し、市販のテキストを分析する。
- 7 指導法（1）
言語活動を導く手段、練習の仕方、させ方を学ぶ。授業運営上の工夫についても知る。ICTについても紹介する。
- 8 指導法（2）
教材の利用法について学ぶ。板書の仕方、PCの活用法等についても知る。
- 9 文法事項（1）
初級段階で問題点となる文法事項について、整理して考察する。
- 10 文法事項（2）
基礎事項の整理をし、実際の授業デザインを考察する。
- 11 指導案作成（1）
教材研究、指導案の内容、文法事項を整理しながら、授業展開を考察する。
- 12 指導案作成（2）
指導案の例、指導案の書き方などを学ぶ。目標、学習段階など全体像を概観する。
- 13 指導案作成（3）
テキストを選択し、教材研究をする。各授業における目標設定を明確化する。
- 14 指導案作成（4）
授業の展開の仕方、文法項目の練習のさせ方など、自身が受けた授業から考える。
- 15 指導案作成（5）
授業展開のフローチャートを書いてみる。見取り図を考え、組み立てていく。

〔後期〕

- 1 前期の振り返りと後期
前期学習した内容の振り返りと後期授業概要の説明をする。模擬授業の割り当てを決める。
- 2 発音指導・模擬授業
発音指導の模擬授業を実施する。どのような練習方法が良いのかも、あらかじめ準備しておく。
- 3 中国語教授法および第二言語習得
中国語教授法、第二言語習得に関し学習する。テキストをプレゼンし、知識の定着を図る。
- 4 中国語教員の役割・学習者論
中国語教員の役割、学習者論に関し、関連する文献を読み学ぶ。
- 5 教案作成（1）
過去に教育実習をした学生の教案を参考に、作成の仕方を学ぶ。
- 6 教案作成（2）
自分で教案を作成する。どのように展開し、どのように練習するか検討する。
- 7 模擬授業（1）
各自の作成した指導案をもとに模擬授業を行う。終了後、自身の授業を振り返る。
- 8 模擬授業（2）
各自の作成した指導案をもとに模擬授業を行う。終了後、自身の授業を振り返る。
- 9 模擬授業（3）
各自の作成した指導案をもとに模擬授業を行う。終了後、自身の授業を振り返る。
- 10 導入と展開について（1）
授業内での練習の仕方、さまざまな導入の仕方について学ぶ。
- 11 導入と展開について（2）
授業内での練習の仕方、さまざまな導入の仕方について学ぶ。
- 12 中国語の辞書
中国語学習辞典を比較し、辞書のあり方や、どのような学習辞典が好ましいか考える。
- 13 テスト
テスト問題を作成し、評価について知る。中国語の各種検定テストについて理解する。
- 14 評価法
テストとも関連する科目の評価法をめぐって考察する。評価とはなにかを理解する。
- 15 まとめ
前期で取り上げた「学習のめやす」について再び取り上げ、考察し、全体のまとめを行う。

■授業の方法

プリント教材を使用し、授業計画に従って講義を行う。一方的な講義にならないように受講者の積極的な参加を求める。授業中の作業、課題などを多く課す。教育実習で中国語をしっかりと教授できるよう、実践的な訓練をする。

■予習・復習

予習：各授業の項目について、教科書や指示した書籍を読んでから臨む
模擬授業の前は、予め教案を書きチェックを受けてから、授業を実施する。
復習：各項目で学んだ内容をノートにまとめ理解する。
模擬授業において指摘された点は、メモをし改善する。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

パワーポイントなどを用いた発表の完成度や質疑応答への対応の仕方 20%
各テーマに関わる議論への積極性 10%
前後期末に課すレポートの完成度 50%
模擬授業における完成度 20%

■教科書・参考書

参考書：『高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編』（文部科学省）
『why?にこたえるはじめての中国語の文法書』（相原茂、石田知子、戸沼市子著 同人社）

■関連する科目

中国語に関する科目であるならば、すべて関連する。特に、1年生必修の総合中国語や資格中国語が関係する。